

町田市文化プログラム実行計画の策定について

1 町田市文化プログラム実行計画策定の目的

「町田市文化プログラム推進計画」に基づき、町田市文化プログラムを計画的かつ具体的に実施するため。

2 町田市文化プログラム実行計画の検討の経過

学識経験者4名・市内団体代表者6名からなる町田市文化プログラム実行計画策定検討委員会を設置し、2017年5月から2017年10月まで4回の委員会を開催し、検討した。

3 町田市文化プログラムの枠組み

(1) 主に市民が主体となって取り組む次の事業

① 既存事業発展型

これまで町田市内で行われてきた事業に、町田市文化プログラムの基本方針や取り組みの視点を踏まえた、新たな取り組みを加えて行う事業。

② 新規提案型

町田市文化プログラムの基本方針や取り組みの視点を踏まえて行う、新たな事業。

(2) 東京2020参画プログラムへの参画

東京2020大会の盛り上がりと共に、さまざまな事業を市内外に効果的に発信するため、東京2020参画プログラムへの参画を目指す。

(3) 実施目標

2018年度に30件、2019年度に70件、2020年度に50件

4 市民による企画提案の促進

(1) 市民企画の公募

市民から、より多くの企画提案を募るため、インセンティブを設定し、審査基準を設け、認証のための審査を行う。

(2) 市民による企画提案への支援の仕組み

市民による企画提案の実現のため、人材等の紹介や、施設や助成事業に関する案内などの支援を行う。

5 今後の推進方針

町田市文化プログラムは、「まちだ〇（まる）ごと大作戦18-20」と連携し、盛り上げていく。なお、町田市文化プログラムの市民企画公募は、「まちだ〇（まる）ごと大作戦18-20」と一本化を図り、市民や地域団体などの実施主体の支援を行う。

第1章 目的と背景

町田市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を契機とし、文化資源の活用や地域文化の振興に対する市民の機運を高め、2020年以降の町田市が文化を通してより豊かなまちへと成長するための仕組みづくりとして、町田市文化プログラムを推進します。2017年3月、そのための基本的な考え方を定めた「町田市文化プログラム推進計画」を策定しました。

本実行計画は、「町田市文化プログラム推進計画」に基づき、町田市文化プログラムを計画的かつ具体的に実施するために策定するものです。

【町田市文化プログラムの目的】

町田市では、文化による一層の持続的・発展的な成長を目指しています。そこで、地域の文化資源への関心や、地域文化の振興に対する市民の機運を高め、町田市全域での文化振興を図るため、市民や文化団体等との協働を促進します。

【町田市文化プログラムのレガシー】

「町田市文化プログラム推進計画」で定めた将来像の実現につながる取り組みをレガシー[※]として残し、未来に引き継ぎます。

※レガシー：「大会開催によって大会後に残る有形・無形の影響や効果」（東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）
オリンピック開催都市において、オリンピックを契機に社会に生み出される持続的な効果のこと。
例えば、施設やインフラの整備、スポーツ振興、生活の利便性の向上等。

【町田市文化プログラム推進計画】

■ 計画期間

町田市文化プログラムは2017年度から2020年度までの4年間を計画期間とし、2020年度以降にもレガシーとして残る取り組みを展開します。

■ 将来像

いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化を楽しむまち

【町田市文化プログラムの対象分野】

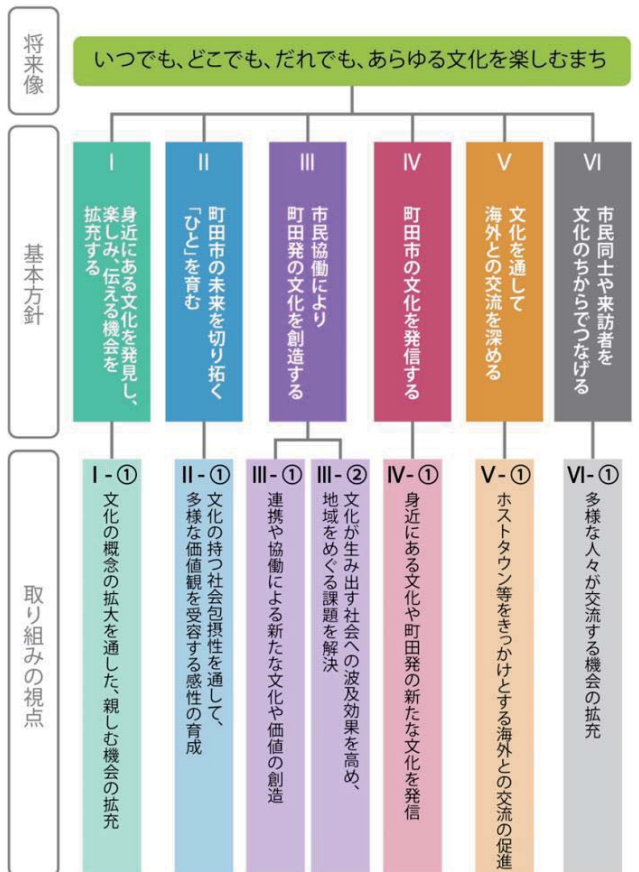
町田市文化プログラムでは、「文化芸術振興基本法」^{※1}の対象分野に加え、工芸やデザイン等、人々の暮らしに密着した創造的な分野を含めた、幅広い文化芸術を対象とします。さらに、「町田市にかかわる歴史と生活」や「新しく多様な取り組み」も対象とし、より多くの市民の参画を目指します。

- 町田市にかかわる歴史と生活
- 芸術・芸能
文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踏、メディア芸術、伝統芸能、芸能 等
- 新しく多様な取り組み
ストリートカルチャー（ダンス、パフォーマンス、大道芸、パレード等）、
コミュニティアート^{※2} 等

※1 文化芸術振興基本法：文化芸術の振興に関する基本理念を定め、国と地方自治体の責務を明らかにした法律。文化芸術に関する活動を行うもの
の自主的な活動の促進を目指す。平成13年12月施行。

※2 コミュニティアート：アートを媒介としてコミュニティの課題を解決する活動。

■ 文化プログラムの全体像



第2章 町田市文化プログラムの考え方

1. 町田市文化プログラムの枠組み

町田市文化プログラムでは、地域の文化や芸術にまつわる資源を掘り起し、発展させることで、地域活力の創出を目指します。

①事業の区分

市内で取り組まれてきた文化芸術活動を発展的に活用する「A. 既存事業発展型」と、この度新たに取り組まれる「B. 新規提案型」とを設定します。

また、それぞれで、市民や町田市による事業を行い、市民協働で町田市文化プログラムを展開します。

■町田市文化プログラムの事業区分

町田市文化プログラム

A. 既存事業発展型

町田市市内での開催実績があり、町田市文化プログラムの基本方針や取り組みの視点を踏まえた、新しい取り組みを付加した事業。

B. 新規提案型

町田市文化プログラムの基本方針や取り組みの視点を踏まえた、新たな事業。

②東京 2020 参画プログラムへの参画

町田市文化プログラムでは、東京 2020 参画プログラムへの参画も目指し、組織委員会が定める審査基準を満たす事業については、積極的な申請を図ります。

③実施目標

2018 年度に 30 件、2019 年度に 70 件、2020 年度は東京 2020 大会の大会期間である 9 月までをめどに 50 件の実施を目標とします。

2. 各事業の展開

町田市文化プログラムの「取り組みの視点」(P. 1 参照)を取り入れた事業の組み立て方は、以下のように考えられます。

A. 既存事業発展型 (具体例)

取り組みの視点
(P. 1 参照)

- Ⅲ-① 連携や協働による新たな文化や価値の創造
- Ⅲ-② 文化が生み出す社会への波及効果を高め、地域をめぐる課題を解決

既存事業
「ショートムービーコンテスト」
・町田をテーマにした映像作品の公募
・入選作品の上映会等

【新たな取り組み (例)】
※想定される事業イメージ
・市民やクリエイターの協働による映像制作
・公園等、地域のにぎわい創出につながる場所での上映会等

発展事業

地域の活力を創造する
「ショートムービーコンテスト」

B. 新規提案型 (具体例)

取り組みの視点
(P. 1 参照)

- V-① ホストタウン等をきっかけとする海外との交流の促進

商店街等によるホストタウン事業と連携した国際交流イベント

【取り組み (例)】 ※想定される事業イメージ

- ・南アフリカ共和国の郷土料理や伝統芸能の体験イベントや、アーティストの作品展示
- ・市内在住者の外国人や留学生との協働による商店街での屋台イベント等

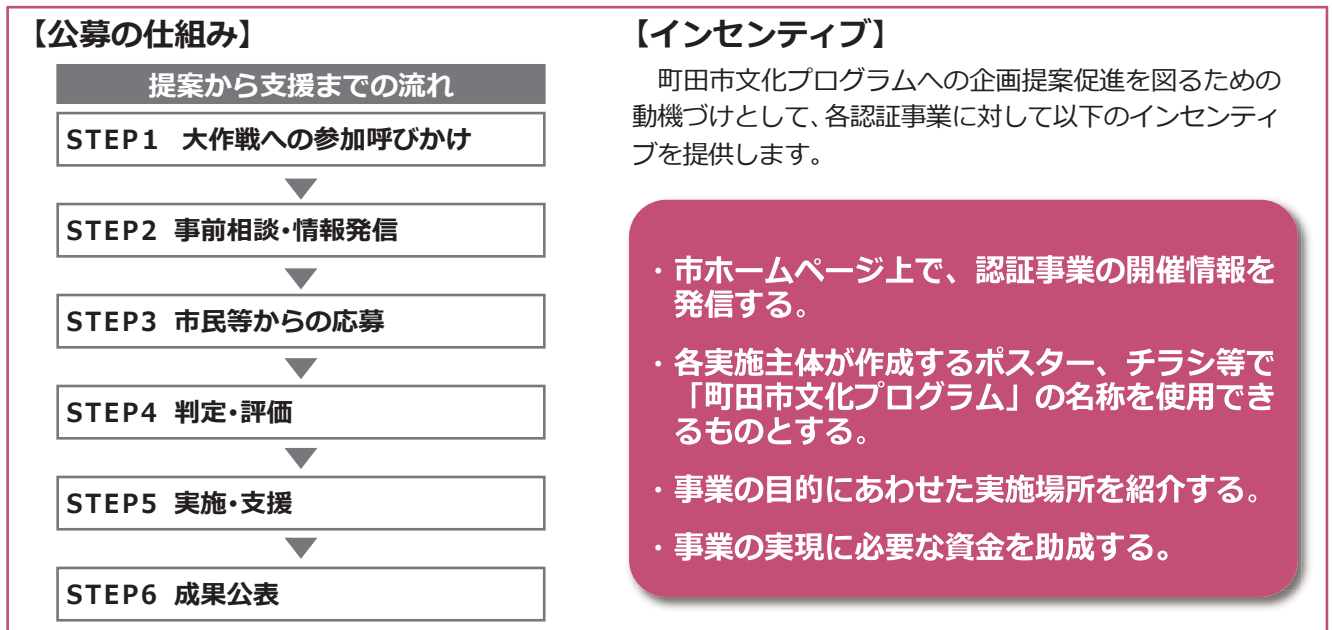
3. 市民による企画提案の促進

将来像の実現に向けて、市民等から広く文化プログラムの企画提案を募るとともに、市民協働による町田市文化プログラムの盛り上がりの醸成を目指します。

そこで、市民企画公募や、市民による企画提案への支援を行い、市民等の積極的な参画と、それによるレガシーの創出を図ります。なお、公募については、同時期に展開される「まちだ〇ごと大作戦 18-20」と一体的に実施することとします。

①市民企画公募

市民からの企画提案を募るため、動機づけとなるインセンティブを設定し、認証のための審査を行います。



②市民による企画提案への支援の仕組み

市民からの企画提案の効果的な実施に向けて、人材等の紹介や、施設や助成事業に関する案内など、具体的な支援を行います。

- ・専門的な人材やボランティア等の紹介。
- ・施設利用に関する案内。
- ・民間の助成事業に関する案内。

4. 広報戦略

市民企画公募への参加を呼び掛けるために、町田市の広報ツールを効果的に活用した広報活動を展開します。

①ターゲットの考え方

効果的な情報発信を行うための発信方法を考慮し、ターゲットを「A. 市が把握している団体等」、「B. 市が把握していない団体等」、「C. その他の市民等」に区分します。

②広報ツール

各広報ツールの特性を効果的に活用するために、以下の3つを設定し広報を展開します。

- I. 導入情報発信ツール：市の広報誌やチラシを活用し、町田市文化プログラムの趣旨や目的を掲載。
- II. 詳細情報発信ツール：市のホームページを活用し、応募に必要な詳細情報等を提供。
- III. サブ・ツール：市の多様な広報ツールを積極的に活用し、より多くの市民へ情報を発信。

第3章 今後の推進方針

町田市文化プログラムは、市制 60 周年、ラグビーワールドカップ 2019 の機会を生かし、「まちだ〇(まる)ごと大作戦 18-20」と連携しながら、市民が主役となる展開を目指します。

